

令和5年8月8日
保健医療部健康推進課

～原爆パネル展に伴う紙芝居の上演の御案内～

次世代に伝えたい紙芝居

被爆者が語る、被爆後の半生を紙芝居で表現

広島・長崎への原爆投下から78年が経とうとしています。茨城県は、茨城県原爆被爆者協議会と共催で、県政広報コーナー2において原爆パネル展を開催しております。

また、茨城県原爆被爆者協議会主催で、下記のとおり原爆被爆者の体験を元にした紙芝居が朗読団体オリーブにより上演されます。特に本年は、紙芝居による被爆体験継承に賛同した水戸市内高校の生徒たちが、新たな世代の伝い手として、紙芝居の朗読に挑戦していただきますので、御案内いたします。

目的	核戦争の悲惨さや原爆投下の歴史を風化させず、紙芝居や写真パネルの展示をとおして次の世代に伝えていくことを目的とする。
日時	令和5年8月10日（木）12:00～12:45
場所	茨城県庁2階 県政広報コーナー1
内容	12:00～「茂木貞夫物語」 紙芝居上演
主催	茨城県原爆被爆者協議会、茨城県

※パネル展示期間：令和5年8月4日（金）午後～8月15日（火）午前
（平日 8:30～17:00、休日 10:00～17:00）

【 本件に関するお問い合わせ先 】
健康推進課 難病対策G 担当：大竹、新山、中谷（内線3234）
TEL：029-301-3214（直通） FAX：029-301-3318